



三重県内での麻疹 アウトブレイクへの対応

三重県松阪保健所
植嶋一宗
2018年2月4日

2018/2/4

1

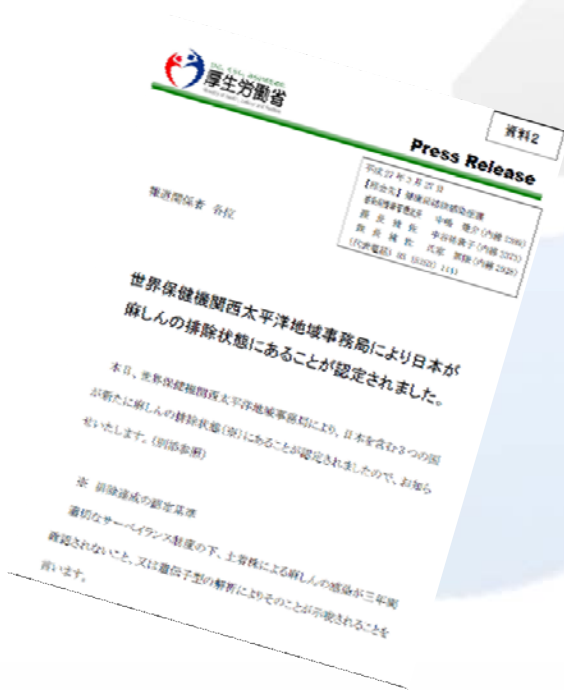
目次

- 麻疹の基礎知識
- 麻疹発生時の対応
- 事例の概要
- 終息・総括

2018/2/4

2

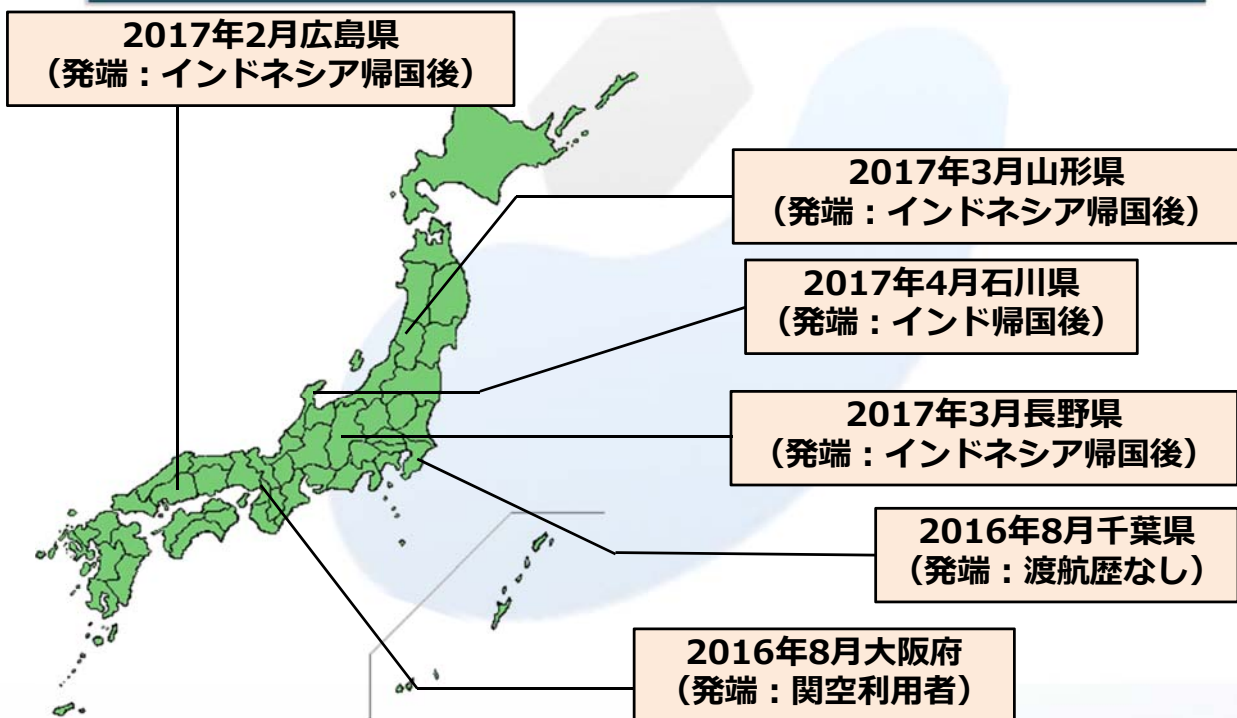
麻疹の排除認定



2015年
3月27日

**日本が
麻疹排除国
として認定！**

日本における最近の主な麻疹アウトブレイク事例の状況



参考：WHO麻疹排除確認ガイドライン

Guidelines on verification of measles elimination in the Western Pacific Region. 2013

1. 最後に確認された土着の麻疹ウイルス株の存在から少なくとも36月が経過し、土着の麻疹ウイルス株の地域循環がなくなっていることが示されること
2. 麻疹排除の確認が可能なサーベイランスがあること
3. 土着の麻疹ウイルス株が存在していることを支

輸入例によるアウトブレイクは日本全国いつでもどこでも起こりうる

2018/2/4

5

典型的な麻疹の症状と経過

- **潜伏期間**：主に**10～12日**（7～21日）



- **カタル期**：2～4日間
 - －風邪のような症状（発熱、咽頭痛、咳、流涕、結膜炎）
 - －コプリック斑（熱が一時的に下がった後、頬の内側面に出現）

感染力が最も強い！



- **発疹期**：3～5日間
 - －熱が一旦下降した後に、再び高熱が出現
 - －典型的には、耳後部から発疹出現→全身に拡大



- **回復期**：発症から7～10日目以後

感染可能期間は、**発症1日前**～**解熱後3日まで**

2018/2/4

6

修飾麻疹

修飾麻疹：麻疹ウイルスに対する**免疫**を保有しているが**不十分**な人が感染した場合、**軽症**で**非典型的な麻疹**を発症することがある

例：高熱が出ない、発熱期間が短い
コプリック斑が出現しない
発疹が手足だけに限局して出現する など

感染症法に基づく届出基準

修飾麻疹：臨床症状の**1つ以上を満たし**、かつ、**届出に必要な病原体診断を満たすもの**

ア：麻疹に特徴的な発疹

イ：発熱

ウ：咳嗽、鼻汁、結膜充血などのカタル症状

麻疹の曝露後の発病予防

●緊急ワクチン接種（麻疹患者と接触後**72時間以内**）

Pediatr Infect Dis J 2011;30:78-80

- ・緊急ワクチン接種群の麻疹発病率：22.2%（12/54）
接種を行わなかった群の麻疹発病率：61.9%（13/21）
→緊急ワクチン接種群で、未接種群と比較し、麻疹を発病するリスクが0.4倍

●免疫グロブリン筋注（麻疹患者と接触後**4日以上6日以内**）

Cochrane Database Syst Rev 2014;4:CD010056

- ・麻疹に対する免疫のない人達において、免疫グロブリン投与群で投与しなかった群と比較し、麻疹を発病するリスクが0.17倍

目次

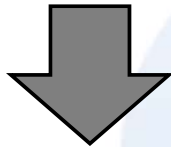
- 麻疹の基礎知識
- 麻疹発生時の対応
- 事例の概要
- 終息・総括

端緒

- **2017年2月2日**：B病院から三重県松阪保健所に、1月28日に発症した、海外渡航歴のない19歳女性の麻疹（臨床診断例）症例が届出られた
- **2月3日**：上記症例の検体からPCR検査にて麻疹ウイルス検出→検査診断例として確定した

麻疹のアウトブレイクの定義

2例以上の疫学的、ウイルス学的、
あるいは、両方で関係している
症例が認められた場合

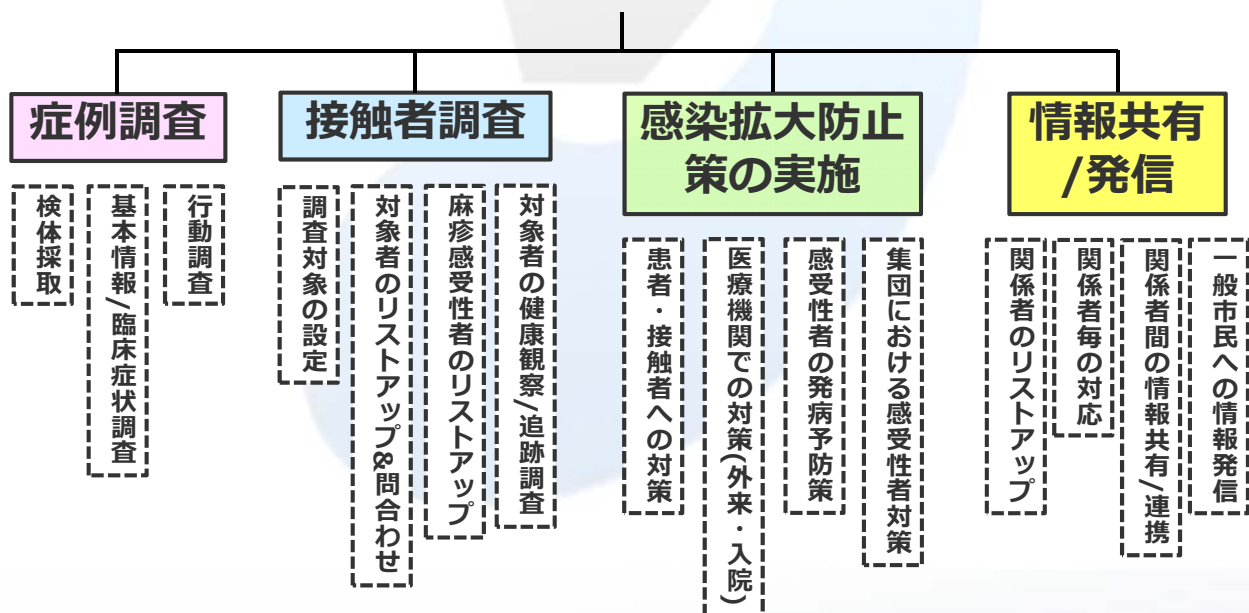


排除認定後の現在は

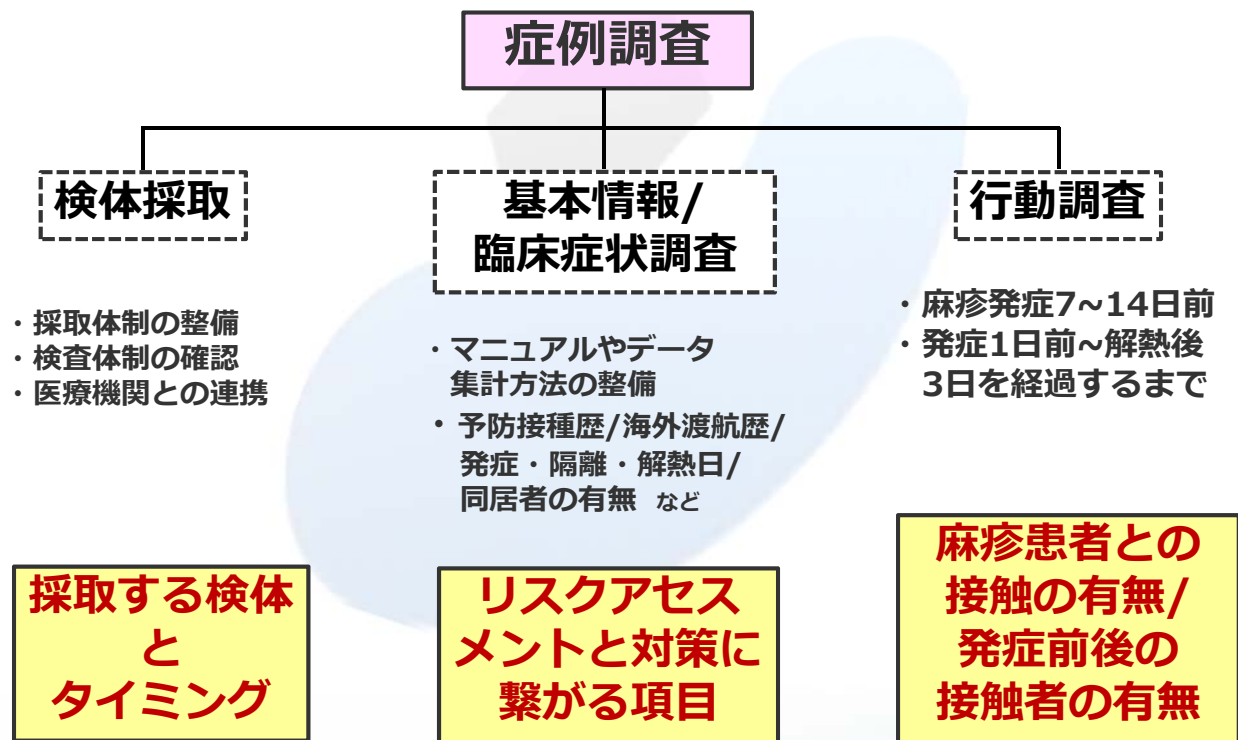
1例でも麻疹が報告された場合は、
アウトブレイクとして対応

麻疹発生時の対応

麻疹発生時対応ガイドライン
〔第二版：暫定改訂版〕を改編



麻疹発生時の対応（症例調査）



2018/2/4

13

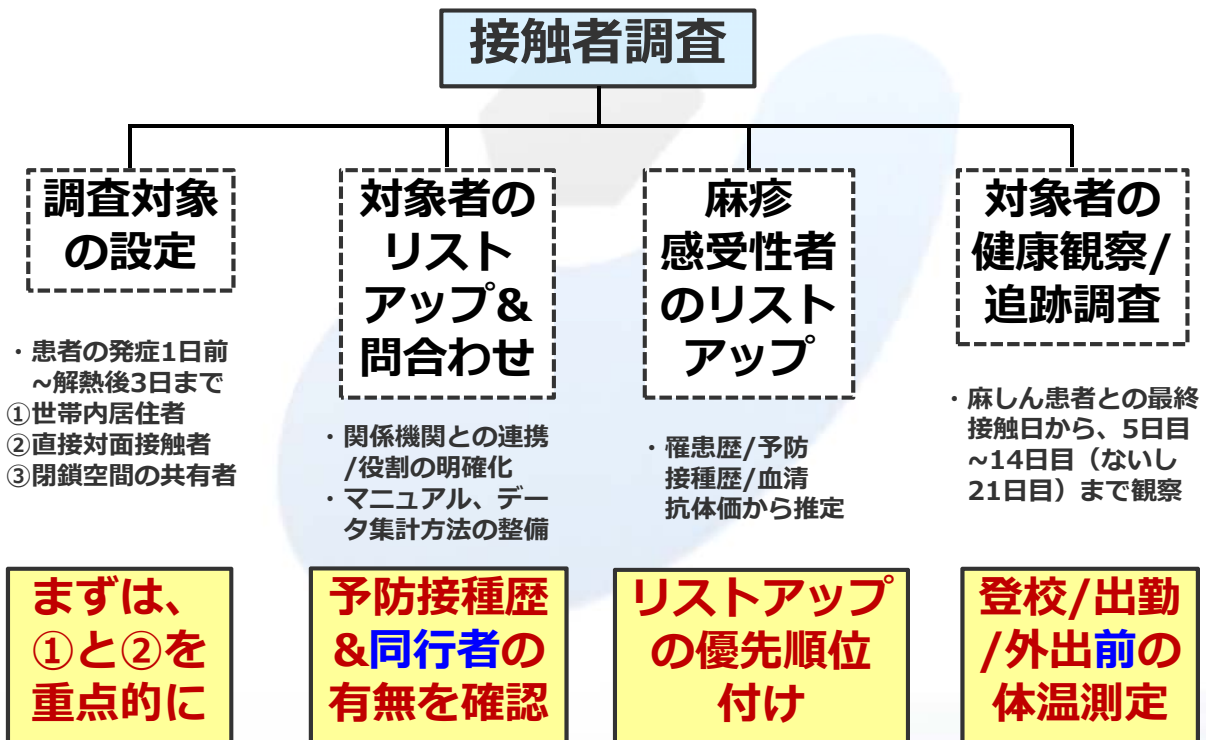
症例調査の結果

内容	症例数
検体採取	93 症例
基本情報/臨床症状調査 行動歴調査	99 症例

2018/2/4

14

麻疹発生時の対応（接触者調査）

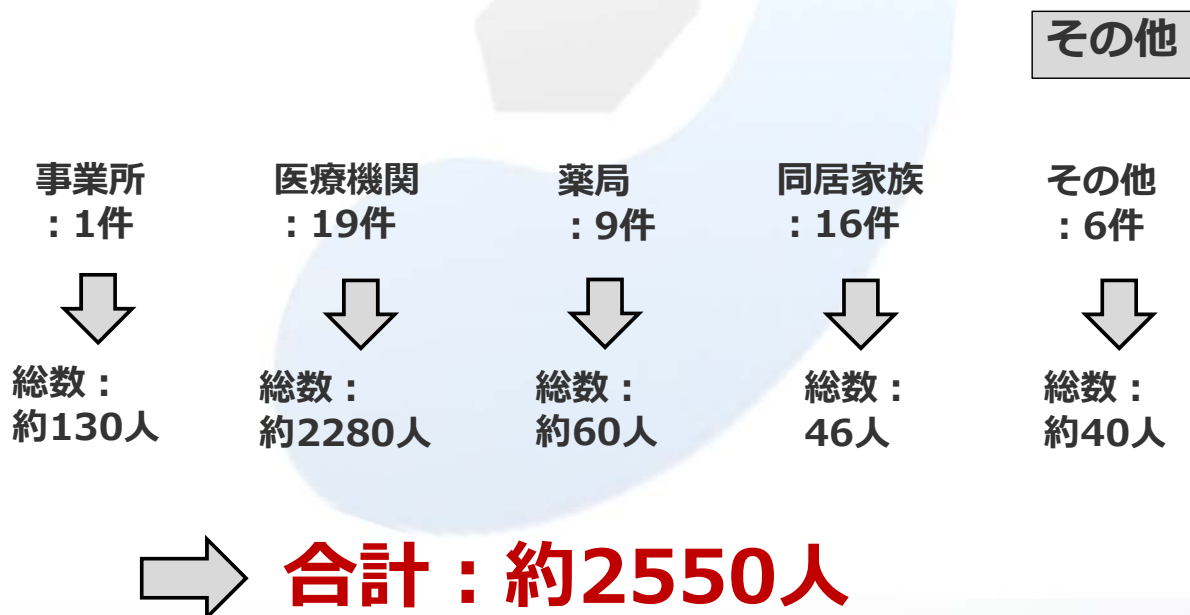


2018/2/4

15

接触者調査の結果

* PCR陽性例に関連したものに限定
* 人数は重複を含む、一部不明あり



2018/2/4

16

麻疹発生時の対応（感染拡大防止策の実施）

感染拡大防止策の実施

患者・接触者への対策

- 患者に対する外出の自粛
- 医療機関受診時の事前連絡
- 過度な外出の差し控え

接触の遮断 & 医療機関受診時の手順の徹底

医療機関での対策

- 疑い例の外来受診時/入院時の対応マニュアルを整備
- 感受性者の洗い出しと対策

追加の予防接種と職員配置の調整

感受性者の発病予防策

- 医療者との連携
- 緊急ワクチン接種 & 免疫グロブリン

都道府県、国と連携したワクチンの確保

集団における感受性者対策

- 定期接種対象者や接種率の把握
- 施設/地域単位での緊急接種の検討

施設/地域単位での状況把握と対策

2018/2/4

17

医療機関での対策(外来・入院)

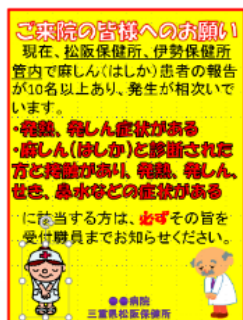


立て看板の設置



対応マニュアル

医療機関毎の独自の対応



啓発用ポスター



対応マニュアル

保健所と医療機関との連携

2018/2/4

18

麻疹発生時の対応（情報共有/発信）

情報共有/発信

関係者のリストアップ

- ・厚生労働省
- ・自治体(県/市区町村)
- ・保健所
- ・地方衛生研究所
- ・医療機関
- ・医師会/歯科医師会/薬剤師会
- ・教育委員会
- ・教育機関
- ・事業所など

関係者毎の対応

- ・対策会議の開催
- ・説明会の実施
- ・周知文の発行
- ・参考資料の作成
- ・パンフレット/ポスターの作成など

関係者間の情報共有/連携

- ・ガイドライン、資料等の共有
- ・迅速な情報共有体制の確立
- ・医療機関との症例情報の共有

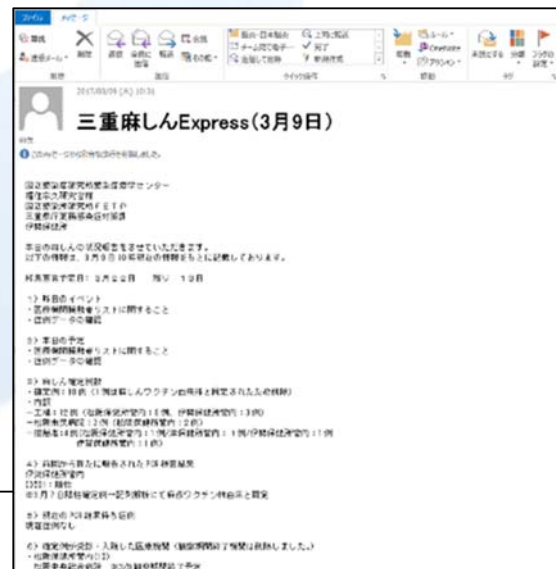
一般市民への情報発信

- ・迅速な注意喚起情報の提供
- ・個人情報/風評被害に配慮した情報提供

関係者間の情報共有/連携（一例）



松阪保健所、伊勢保健所、三重県庁、国立感染症研究所 担当者の合同ミーティング



日々のメール配信 (三重麻疹Express)

関係者毎の対応（一例）



2018/2/4

23

一般市民への情報発信

三重県 Mie Prefectural Government

サイト内検索 Google*カスタム検索 検索

[暮らし・環境](#)
[防災・防犯](#)
[健康・福祉・子ども](#)
[スポーツ・教育・文化](#)
[観光・産業・しごと](#)
[まちづくり](#)
[県政・お知らせ情報](#)
[組織・業務](#)

麻しん（はしか）の集団発生について

平成29年02月09日

三重県多気郡内の工場（以下工場）で、麻しんの集団発生がありました。

県民のみならずにおかれましては、麻しんを疑う時は早急に保健所へ連絡してください。保健所に連絡の際は、必ず事前に保健所に電話で麻しんの疑いがあることを連絡して指示に従ってください。

また、症状は発症後2週間程度で治癒しますが、重症化を招く恐れがあります。また、発症後2週間程度は、早めに対応する必要があります。

発生場所 三重県多気郡内の工場

発症者

- 2月2日 松阪保健所が、当該工場勤務する10代の女性が発症し、検査を実施。
- 2月3日 女性が麻しん発症と判明したため松阪保健所が当該勤務者の調査を実施し、集団発生を疑う。

また、患者が松阪保健所、伊勢保健所管内から搬送されていることが判明し、伊勢保健所も調査を実施。

2月7日 国立感染症研究所とともに当該工場調査を実施。

患者数 10名（2月8日18時00分現在、初発患者を除く）

内訳

- 年齢 20歳代男性3名、女性2名
- 30歳代男性3名、女性1名
- 40歳代男性1名

（同じ工場の従業員9名とその親1名（松阪市内医療機関勤務））

※ 引き続き患者の発生状況の把握や接触者の追跡調査を行うとともに、工場等に対して、感染拡大防止の指導をおこなっていきます。

麻しん罹患患者(2/3-)

(3/21 10時現在)

NO	保健所管内	性別	年齢	主症状
1	松阪	女	10代	発熱・発疹
2	伊勢	女	20代	発熱・発疹・鼻汁
3	伊勢	男	20代	発熱・発疹・頭痛・咽痛
4	松阪	男	20代	発熱・頭痛・咽痛
5	松阪	男	40代	発熱・発疹・頭痛
6	松阪	男	20代	発熱・発疹・咳
7	松阪	男	30代	発熱・発疹・頭痛・咽痛
8	松阪	女	20代	発熱
9	伊勢	男	30代	発熱・発疹・目の充血
10	松阪	男	30代	発熱
11	松阪	女	30代	発熱・発疹・頭痛・リンパ節腫大
12	松阪	男	30代	発熱・発疹・咳・咽痛・倦怠感
13	松阪	女	30代	発熱・倦怠感
14	松阪	女	50代	発熱・発疹・倦怠感
15	松阪	男	30代	発熱・発疹・倦怠感
46	伊勢	男	1~4歳	発熱
17	伊勢	男	30代	発熱
18	津	女	30代	発熱・発疹

※No. 18の事例については、濃厚接触者調査によりワカン様病巣の濃厚子型と判明したため報告します。

18-4)

麻しん（はしか）について

1 概要

発症すると約 10 日間の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2-3 日後に全身に発疹、頭痛や上気道炎などの症状が現れます。重症化を合併しやすく、患者 200 A11 人の割合で脳炎や髄膜炎と合併しています。死亡する割合は、先進国であっても 1000 人に 1 人とされています。

2 感染経路

麻しんは、鼻シークレットによって空気中を飛ぶ塵埃や唾液を含んだ飛沫として知られています。麻しんのウイルスの感染経路は、空気感染、接触感染、分泌物を含んだトビや鳥の糞が媒介し、手足の皸状皮膚病に媒介とされています。免疫を持っていない人が感染すると約 90% 発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続するとされています。

3 潜伏期間

約 10 日～12 日間

4 治療

特異的治療法はなく、対症療法を行う。

5 患者の発生状況（麻しん発生数）

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
三重県	3	1	6	1	0	6	8
全国	439	233	220	452	25	159	9

三重県は2017年第6週（1月30日～2月5日）（2月7日現在）
全国は2017年第6週（1月29日～2月5日）（2月7日現在）

【市民の皆様へ】

麻しんは予防接種が有効です。定例予防接種は早めに対応してください。

麻しんにかかった（検査で陽性反応）ことがない方が体内に感染される時には、あらかじめ麻しんの予防接種を受け、麻しんの予防接種を2回接種していない場合は、外出時や学校などの場面に注意して予防接種を受けることをおすすめしています。

【医師の皆様へ】

※ 1歳以上5歳未満

※ 2歳未満以上7歳未満の児に対して、4歳未満の14歳

2018/2/4

24

目次

- 麻疹の基礎知識
- 麻疹発生時の対応
- 事例の概要
- 終息・総括

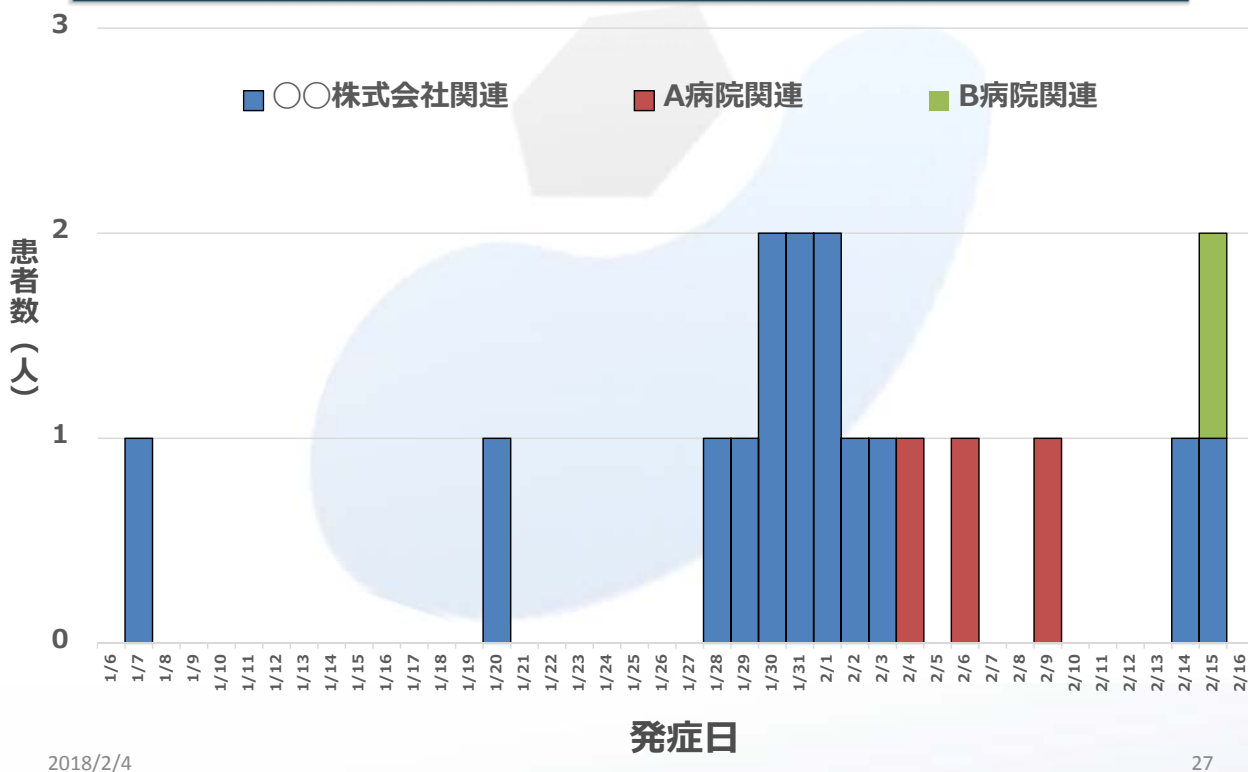
症例定義

2017年1月5日以降、松阪、伊勢、伊賀及び津保健所管内医療機関から麻疹として届出がなされ、PCR法で麻疹ウイルスが検出、あるいはその他の検査により麻疹と診断された症例。

*但しワクチン株によるものを除く。

*但し本事例と明らかに関連性がないと判断される症例は除く。

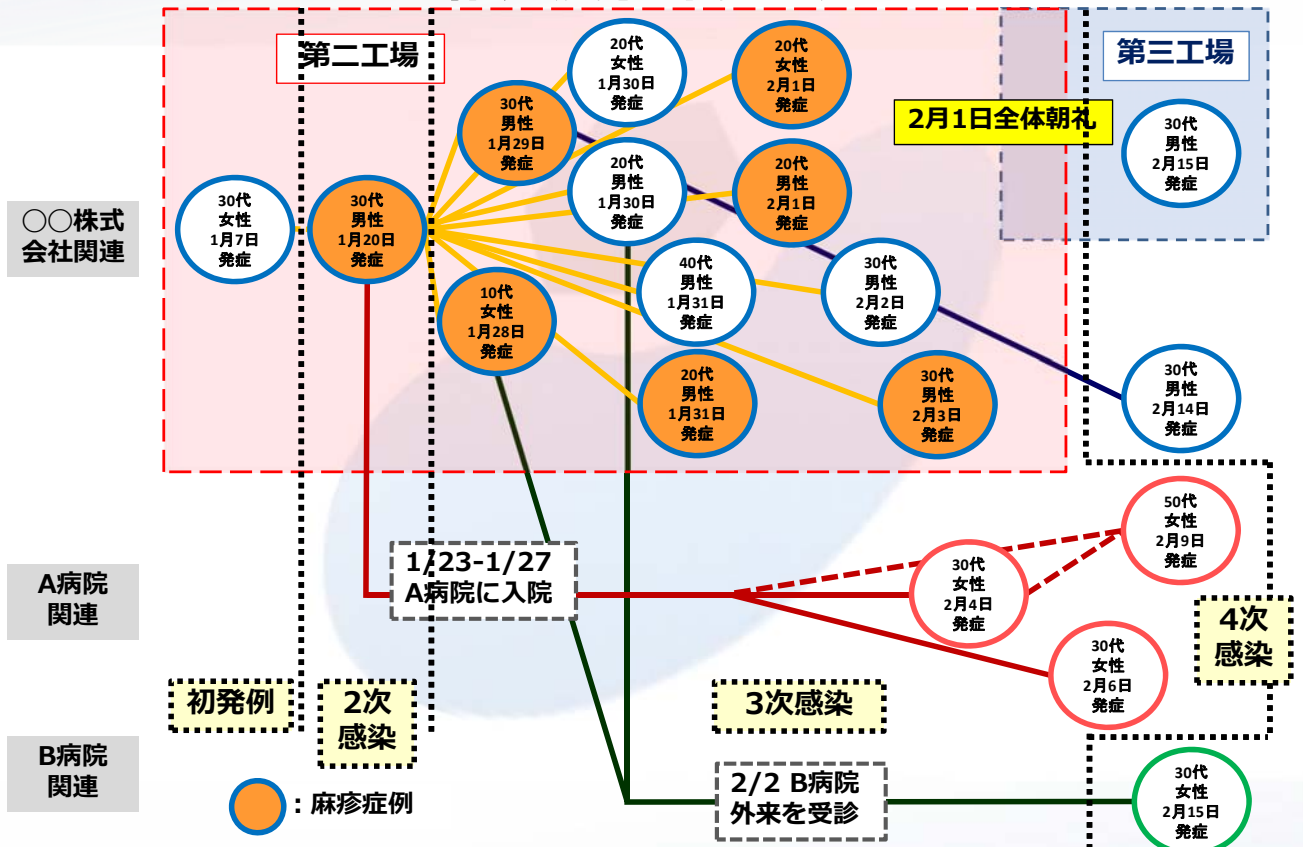
三重県松阪、伊勢及び津保健所管内で発生した麻疹確定例の報告数の推移、発症日別（2017年1月6日～2月16日） n=18



麻疹確定例の属性 (n=18)

項目	中央値	範囲			
年齢 (歳)	32	19-53			
項目	人	割合 (%)	項目	人	割合 (%)
性別 (男)	10	56	診断名		
クラスター			麻疹 (検査診断例)	7	39
〇〇株式会社関連	14	78	修飾麻疹 (検査診断例)	11	61
A病院関連	3	17	症状		
B病院関連	1	6	発熱あり	17	94
管轄保健所			発疹あり	14	78
松阪保健所管内	13	72	カタル症状あり	9	50
伊勢保健所管内	4	22	ワクチン接種歴		
津保健所管内	1	6	2回 (記録)	1	6
遺伝子型			2回 (記憶)	1	6
D8	15	83	1回 (記録)	3	17
型別不能	3	17	1回 (記憶)	3	17
			0回	3	17
2018/2/4			不明	7	39 ³⁸

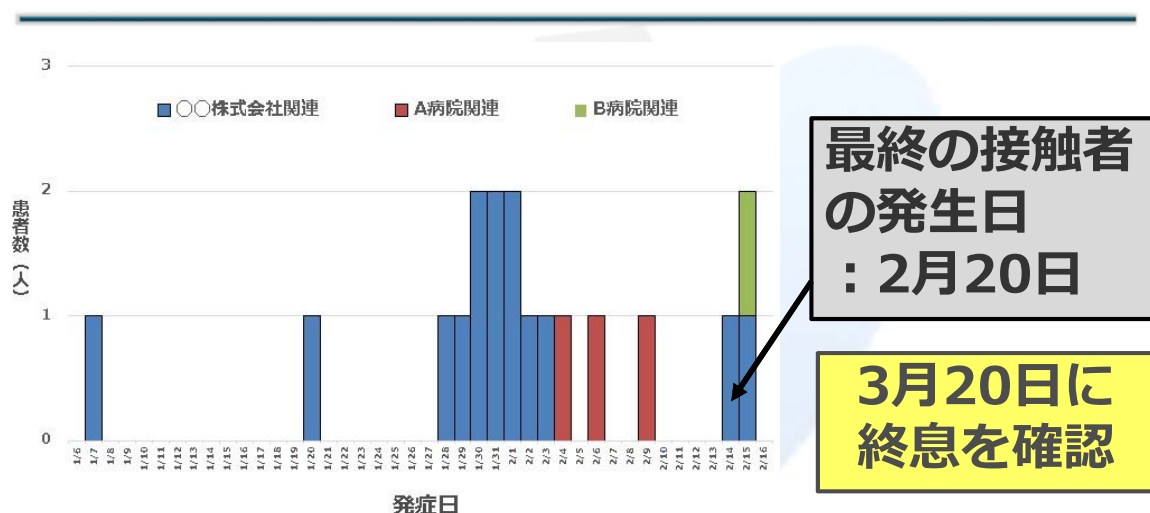
推定疫学的リンク



目次

- 麻疹の基礎知識
- 事例の概要
- 麻疹発生時の対応
- 終息・総括

事例の終息の確認



最終の接触者の発生日
: 2月20日

3月20日に終息を確認

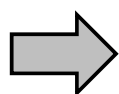
終息の確認:麻疹患者との最終の接触者の発生から4週間新たな麻疹患者が発生しなかった場合

2018/2/4

31

積極的疫学調査

●聞き取り調査によって、〇〇株式会社では、**1月20日発症の症例以前**に、5名が麻疹の可能性を否定できない症状を呈していたことが判明した



同工場に勤務する1月7日発症の37歳女性からIgM抗体が検出された

2018/2/4

32

初発例はどこからやってきた？

- 海外渡航歴なし
- 発症日：2017年1月7日
- 潜伏期間：7日～21日
- 推定感染期間：**2016年12月17日～12月31日**



上記期間内に、発症日～診断日
が該当する日本国内の麻疹症例

- ・ 埼玉県
- ・ 三重県
- ・ 京都府
- ・ 兵庫県
- ・ 広島県
- ・ 大分県

